



幕別町立幕別中学校
教諭 遠藤 康代

わたしの 授業実践

～子どもたちの「想像力」と「創造力」を引き出す
ゲストティーチャーとのコラボ～

■はじめに

「子どもたちの想像力と創造力を引き出すことがこの仕事ではとても大事だよ」

この言葉は、初任のときに先輩教員から言われたもので、心に強く残り今なお折に触れて自分を支え導いてくれています。もう30年も前のことになりましたが、学習指導要領が目指すものと重なる部分も多く、自分には今も変わらず新鮮に響いてきます。

いまだ試行錯誤の「私の授業実践」ですが、先輩にもらったこの言葉を念頭に置きながら組み立てた昨年度の3年生の「総合的な学習の時間」での取組を、実践の1つとしてここに紹介したいと思います。

■自分たちの会社をつくる

昨年度の3年生は、「総合的な学習の時間」の地域発信の学習のテーマを次のように設定しました。

いつまでも住み続けられる町幕別で、イノベーションを起こそう！
持続可能なまちで、スゴ腕起業家をめざすのダ！私たちの会社は「出資」してもらえるのか？！

子どもたちの想像力と創造力を

引き出す。

そして、「持続可能なまちづくり」の発想と起業家として必要な知識や技能の習得を盛り込んだ、ふるさと幕別町に根差した模範的会社づくりとその成果の発表を行いました。

■ゲストティーチャー

とのコラボ

今回の学習の最大のポイントは、「想像力」と「創造力」を膨らませること。そして、その大きな「鍵」となったのが、ゲストティーチャーとの連携でした。その連携の主なものを時系列で挙げていくと、次のとおりです。

- ・神奈川県立高校の学生たちのSDGsについての探究学習の発表を、Zoomのブレイクアウトルームを利用して小グループに分かれて聞く。(2年生時に2時間)
- ・修学旅行先の横浜市で、班毎にSDGsに取り組む企業・施設を訪問し、その取組に触れる。(半日)
- ・幕別町役場の方から、町の目指す「ゼロカーボンシティまくべつ」の実現に向けたエネルギー政策の話聞き、ワークショップに参加する。(2時間)
- ・町内企業「十勝大福本舗」の役員の方

方に来校していただき、企業理念や起業家の思い、会社が今後目指すことなどについての講話を聞く。(2時間)

・地域密着型ベンチャー企業「株式会社そら」の社員の方々から、起業のノウハウについての講座と効果的なプレゼンテーションに向けたフルサポートを受ける。(20時間)





■「想像力」と「創造力」と ゲストティーチャー

2月に行われた本学習の集大成となる「企業説明会」では、いづれの班も大変ユニークで趣向を凝らした発表を行い、各方面から多くの称賛を頂くことができました。
しかし、学習開始時、子どもたちは

ゲストティーチャーの存在によって、

学びの価値付けが明確になる。

あまり能動的ではありませんでした。この学年は全般的に活発で知識が豊富な子どもが多かったので、序盤からもっと「こうしよう」とか「こうしたら？」と意見が次々と積極的になることを予想していました。ところが、当初は思いの外受け身で、軌道に乗らない時期がしばらく続きました。

振り返れば、前例がなく学習の全容が見えづらかったことなど、いくつかの要因が挙げられます。その中の大きなものとしては、彼らが身近なものの中に課題を見付けることと、「ニッチ(隙間産業)」を探りゼロから何かを創り上げることに困難を覚えたのではないかと考えます。

言い換えると、ものや情報が豊かにあふれ返り、そこに充足している中で「今の幕別に足りないもの」や「幕別の人たちの困りごと」が何かを考えること(想像)、今存在しないものに価値を見いだすこと、既存のものに付加価値を付けながら「どうやったらそれを新事業として創り上げられるのか」について考えること(創造)が難しかったからではないか、ということです。

そのような状況で、ゲストティーチャーの方々の存在はとても意義深いものでした。学習の所要所でプロの目線から見たリアルな社会の様子を伝えてくださったり、様々な角度から気付きを促すヒントを与えてくださった

りしました。それらの時間は、本学習においてとても大きな意味をもちました。

何より、それぞれの分野の専門家が用意してくださる刺激的で深みのある講義によって、子どもたちは自分たちがやるうとしている学習の価値付けを明確にできたのだと思います。序盤は受け身だった子どもたちの多くが、学習が進むにつれ率先して情報収集を行い、その情報の分析や発表に向けた取組を積極的に行うようになっていきま残っています。

多くの労力を費やしていただきましたが、ゲストティーチャーの方々には、子どもたちの変容に影響を与え、大きな達成感を子どもたち自身に残してもらいました。また、異業種の方々による多様な授業は、私たち教員にとっても刺激的で学ぶことが多く楽しかったです。

■これから

繰り返しになりますが、私は、子どもたちの「誰かの困りごと」に思いを馳せる力(想像力)や「新しい何かを生み出す力(創造力)」を大切にしたいと思っています。

今回の学習では、ゲストティーチャーの方々のお力添えを得てそれら

の力に迫ることができました。今後は、そういった力を育むための継続的な取組や、今回のようなゲストティーチャーとのコラボを含めた意図的な仕掛け、あるいは演習の必要性も感じています。

私は、子どもたちの頭と心をフル回転させ、周囲を「あっ」と驚かせるような発想力や行動力をこれからも引き出し奨励したいです。それらの力は、この先の社会で生きていくために彼らが身に付けなければならぬ大切な力の1つだと考えます。

